

当園ではこの度、令和6年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

鶴山台明德幼稚園では、徳育を中心として知育・体育・国際化教育と4つの柱をたて、バランスのとれた教育を実践しています。お父さん、お母さんを大切にできる子供に、また思いやりのあるやさしい子供に、そして誰にでも元気に挨拶のできる子供に成長してくれることを願い、教職員、講師自らが道徳性を身につけ、子供たちにより感化が与えられるよう、日々研鑽努力をしています。遠足、運動会、お芋掘りなどの いろんな行事や、絵画制作、英語レッスンなどの活動を通して情操教育にも、力を入れています。又、同年齢はもちろんのこと異年齢の子ども達とのかかわりを持つことによって育つ、年長児としての自覚と責任感、年中児・年少児にとっては安心して参加できるというねらいのもと、「なかよし保育」を園内での活動や園外保育に取り入れています。子ども達のよいところをたくさんみつけ、保護者の皆様と手を取り合って、すばらしいお子様を育てていきたいと考えています

II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上
- 教職員間の連携強化
- 安全管理体制の充実
- 園全体の発展

III. 自己評価項目と取組み状況

自己評価項目			取組み内容	
1	教職員の資質向上	子どもにとってよりよい教育のためにどのような取組みをしましたか？	B	保育準備の場面では、手の空いている職員が自然と声をかけ合い協力し合う体制ができ、教職員全体に余裕が生まれました。子ども一人ひとりに寄り添い、個性やペースに合わせた関わりや、遊びや制作の内容も工夫し、笑顔あふれる保育を心がけました。保護者との信頼関係づくりにも意識して取り組み、先を見据えた保育を実践できるよう努めました。
2	教職員間の連携強化	会議や終礼等の情報共有によってどのような取組みをしましたか？	B	朝礼・終礼ノートを当番制にすることで、記録者が読む側の視点を意識し、よりわかりやすい情報共有が進みました。小さな出来事やミスも職員全体で共有することで、同じ失敗を繰り返さない意識が高まり、園全体で子どもを見守る体制を整えることができました。

自己評価項目			取組み内容	
3	安全管理体制の充実	子どもたちが安全に遊具を利用できる環境を整えるために、遊具の確認を定例化して行う。避難訓練の回数やその方法・設定について再度検討する。	B	遊具やおもちゃの破損確認を毎日行い、異常があれば速やかに園長へ報告・対応する体制を整えています。避難訓練では、昼寝中や降園前など様々な時間帯や状況を想定して実施し、実践的な対応力を高めました。
4	園全体の発展	園全体の発展につなげるため、保護者アンケートの集約意見を教職員全体で考察する。	B	登園に不安を抱える子どもや保護者へ積極的に声をかけ、気持ちに寄り添う関わりを大切にしました。保護者との対話から保育への要望を把握し、給食レシビの提供など、具体的な対応にもつなげています。

【評価の基準】	
A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

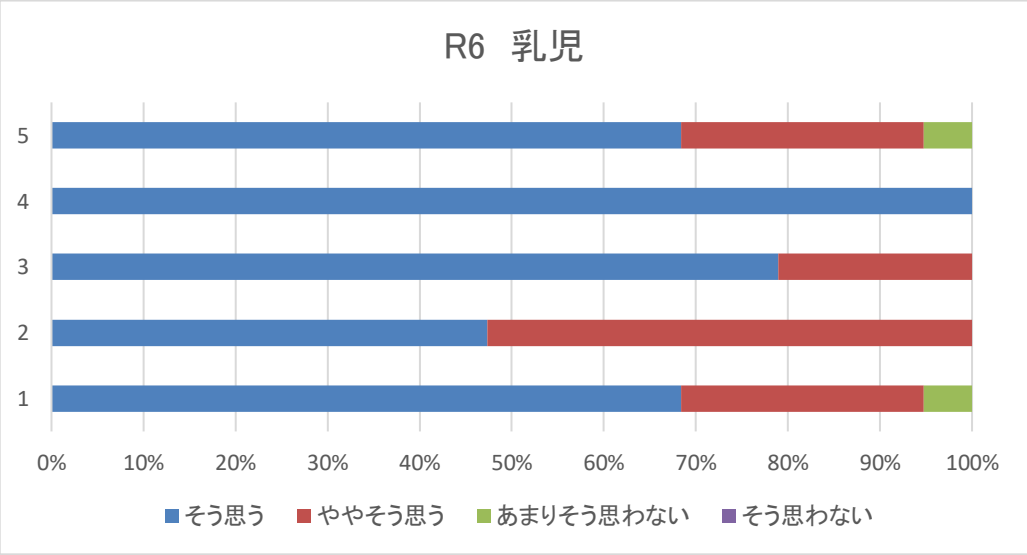
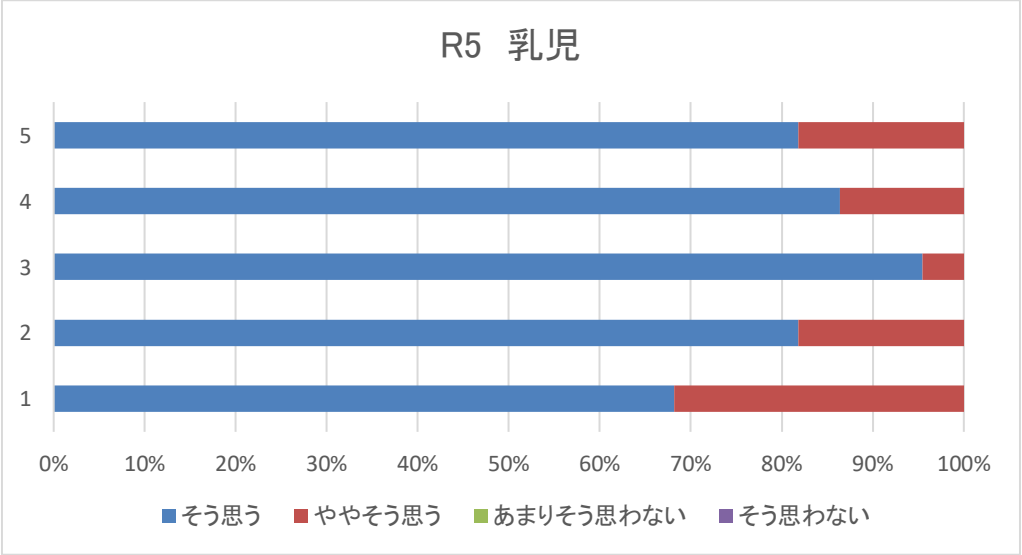
1	教職員の資質向上	子ども主体の保育を実現するために、時代に応じて見直すべきこと・大切にするべきことを教職員全体で考えていきたい。また、クラスの課題を共有し合い、気づきや学びを得られる対話の場を作っていきたい。
2	教職員間の連携強化	情報共有の仕組みは整っていますが、ノート等の記載内容にばらつきがあるため、誰が読んでも伝わるような記載にしていきたい。内容の精査や書き方の工夫を全体で意識し、情報共有の精度をさらに高めていきたいです。
3	安全管理体制の充実	安全管理を園全体の取り組みとするため、保育職員だけでなく調理員も含めた訓練を行う。また、災害時に迅速な対応ができるよう、各クラスで避難バックを整備し、備品の見直しや管理体制の強化も進めていきたい。
4	園全体の発展	保護者の声を保育に活かす工夫が広がっていますが、対応に個人差があるため、園全体で共有・連携しながら、保護者の期待に応える取り組みを継続していきたい。

V. 保護者アンケートの結果

■アンケートの集計結果

＜乳児クラス＞

質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5
お子さんは、園に登園することを楽しみにしていますか？	お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お子さんは、クラスの先生に親しみを持っていますか？	お子さんは、園生活で成長していると感じますか？	お子さんは、自園給食の内容に満足していますか？



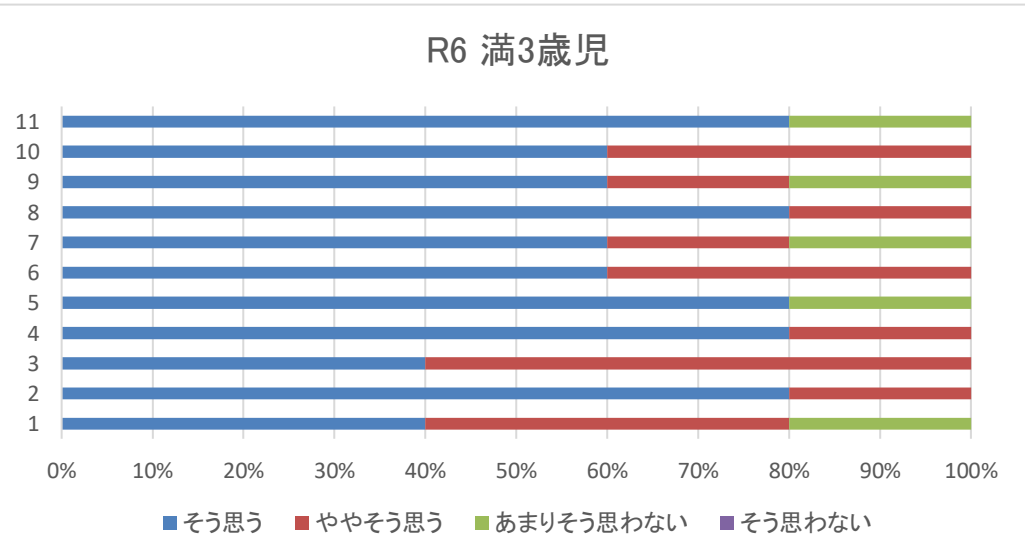
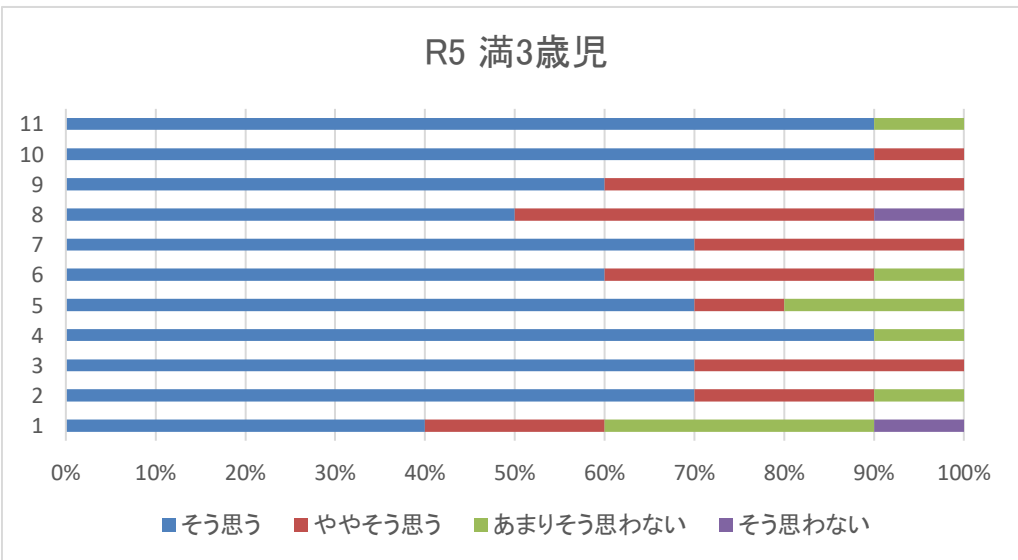
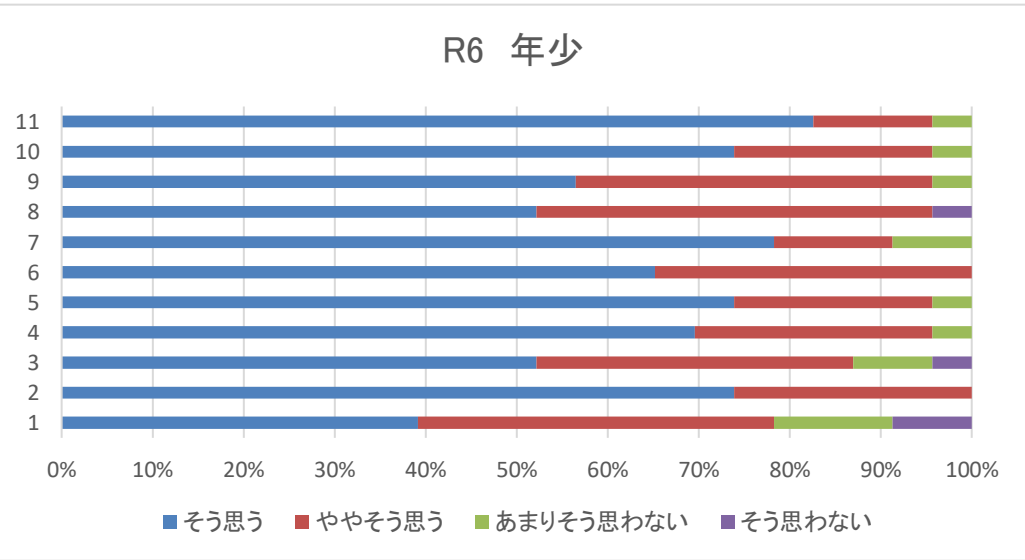
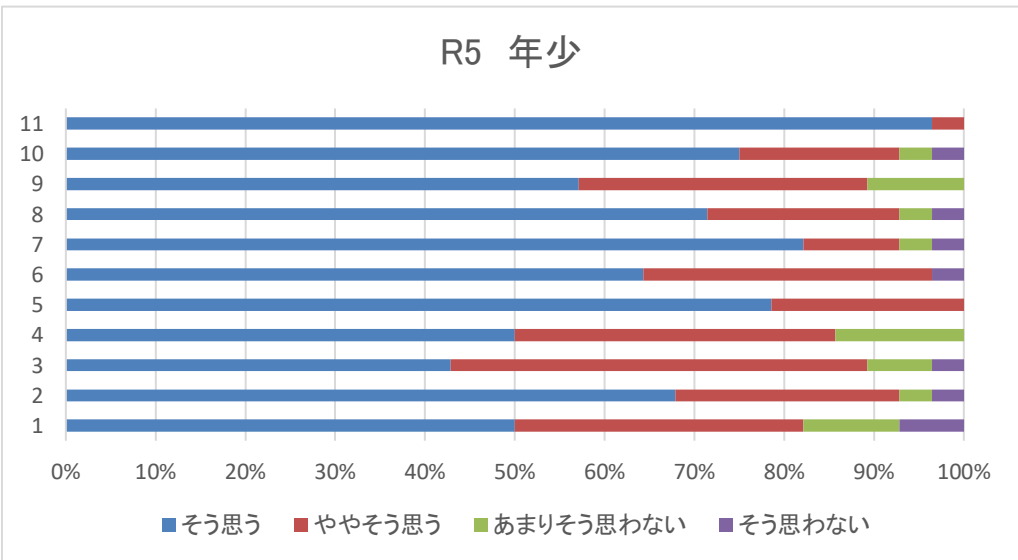
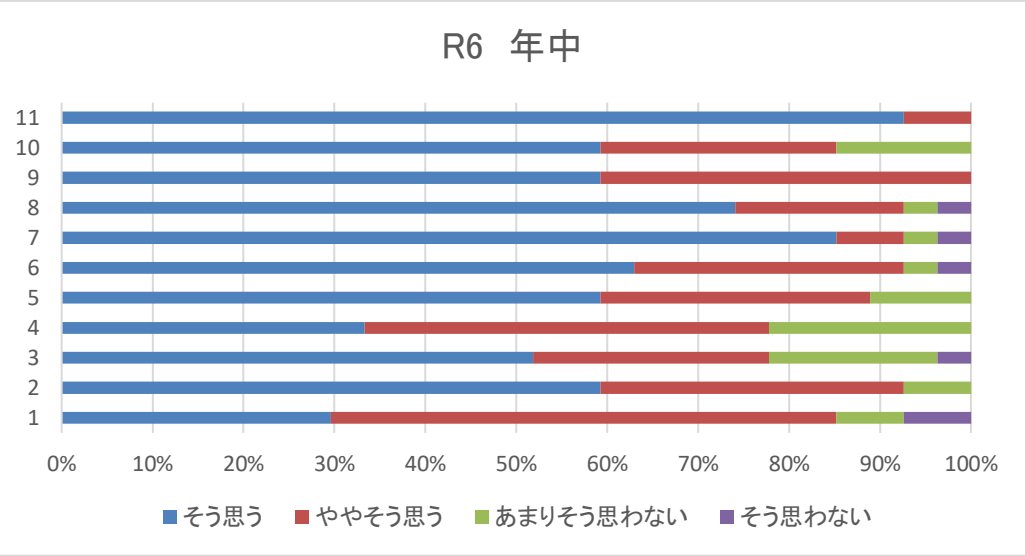
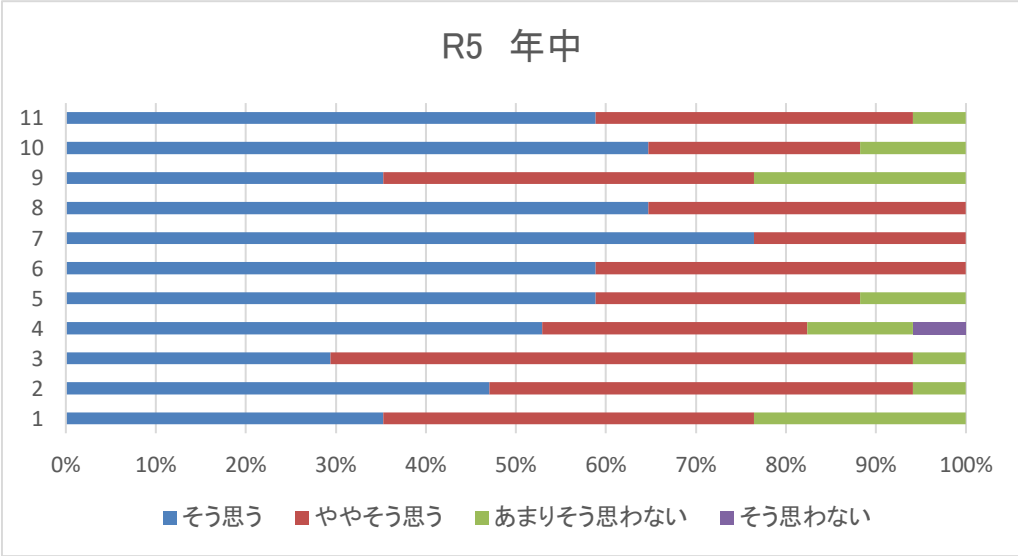
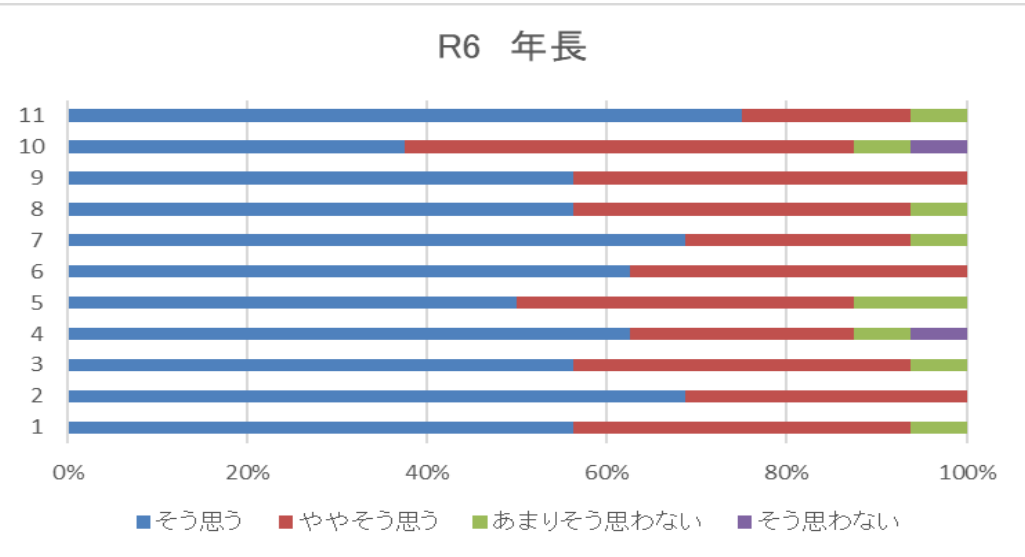
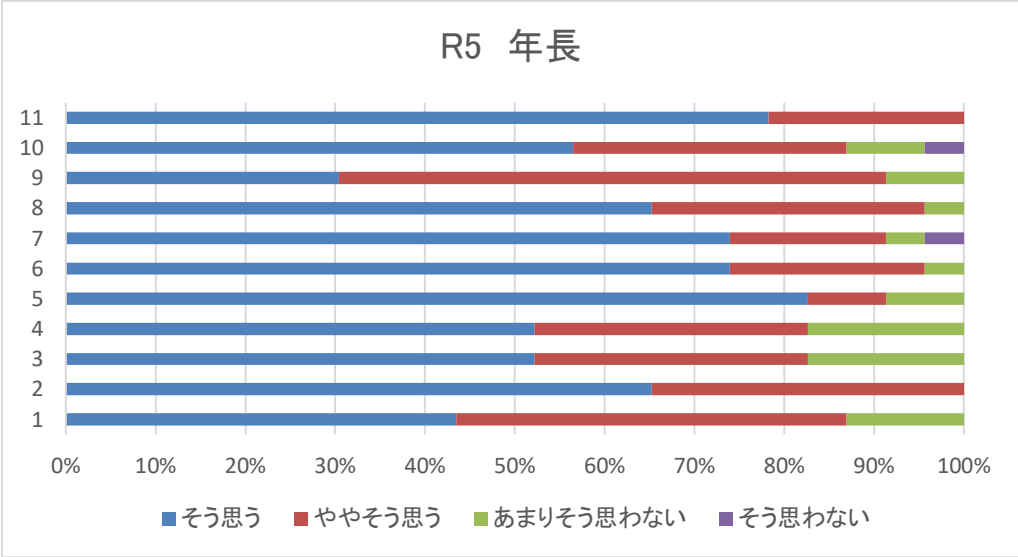
令和6年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台明德幼稚園

＜満3歳児・年少・年中・年長クラス＞

質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5
お子さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？（ありがとうの言葉など）	お子さんは、感受性が豊かだと感じるときがありますか？	お子さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？	お子さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？	お子さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらおうとする姿勢が見られますか？

質問 6	質問 7	質問 8	質問 9	質問 1 0	質問 1 1
お子さんは、集団生活の基本（順番を守るなど）がきちんとできていますか？	お子さんは、体育活動（跳び箱、縄跳び、鉄棒、ボールなど）を楽しみにしていますか？	お子さんは、園に登園することを楽しみにしていますか？	お子さんは、体育活動を通じて、体が丈夫になったと思いますか？	お子さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？	お子さんは、自園給食の内容に満足していますか？



■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)
<乳児クラス> 昨年度より下がっている項目については、気を付けて対応させていただきます。 第四項目については、全ての保護者の方に高い評価を頂き有難うございます。 <幼児クラス> 概ね、昨年度と大きな差は見られませんが、第一項目と第三項目は、毎日園長以下 全教員が力を入れている項目ですので、次年度は気を付けて取り組みます。

Ⅵ. 学校関係者の評価

本園では、子どもたちが年齢に応じた多様な経験を重ねられるよう、非常に工夫された保育が行われていると感じました。特に、2歳児や年少児においては、さまざまな活動を通じて「やってみたい」「楽しい」と思えるような体験が豊富に用意されており、子どもたちの好奇心や意欲が自然と育まれている様子が印象的でした。 年中児になると、運動を中心とした活動を通じて、これまでの経験をより深く、そして広く発展させていく工夫が見られました。単なる運動の時間にとどまらず、「できた」という達成感や、「もっとやってみたい」という向上心を引き出す関わりが随所に見られました。 年長児では、運動カードを活用しながら一人ひとりの目標に向けた取り組みが行われており、運動能力の向上はもちろんのこと、継続して取り組む姿勢や自己管理能力も育まれていると感じました。園児たちが楽しみながら成長を実感できる環境が整っており、非常に高い教育的価値を感じました。 園での生活を通して、我が子が少しずつ「できること」が増えてきているのを実感しています。無理に何かをさせるのではなく、まず子ども自身が興味を持てるように導いてくださり、その気持ちを大切にしながら、できることを一つひとつ広げくださっていることに感謝しています。 また、上の学年のお兄さん・お姉さんたちの姿を間近で見ることができる環境も、とても良い刺激になっているようです。自然と「自分もやってみたい」「あんなふうになりたい」という気持ちが芽生え、挑戦する意欲につながっています。

以上